

議会だより



第100号記念特集

平成26年(2014年)1月31日

な
か
し
べ
っ



100号記念にあたって	2	追跡…あの一般質問はどうなった	16～17
12月定例会で決まりました	3	議員研修会	18
一般行政・教育行政報告	4	研修会・中標津会	19
一般質問	5～7	中学生議会	20
議会だよりの歴史	8～9	意見書	21
議会改革特別委員会活動報告	10～11	常任委員会活動レポート	22～23
特集 議会のうそき	12～14	活動報告	24
決算審査特別委員会報告	15		

開かれた議会をめざして

中標津町議会議長
萬 和 男

中標津町の議会だよりは昭和42年5月15日第1号が発行され、昭和53年6月15日第38号を最後に発行中止となりました。11年ぶりに平成元年5月25日創刊号として再スタートして25年間、年4回、記念すべき第100号目の発刊を迎えました。町民の皆さまの叱咤激励や貴重なご意見並びに議会報告会への参加など、多くのご協力をいただき心より感謝申し上げます。

過去の議会だよりを読み返してみますと当時から一貫して、議会傍聴の案内や町民の意見に紙上に載せるなど、町民とのかかわりを大切に取組んできたことが伺われます。大きく変わったのは平成9年4月発行の33号よりB5判からA4判へと大型化、平成12年5月発行の45号から紙面のカラー化が実現、必要に応じてページ数を増やすなど、見やすく、分かりやすい広報紙づくりが進んできたものと思います。

紙面においても、常に議会の動きや取り組みが皆さまに理解してもらえるよう編集してきました。さらに、議員のほうから町民の中に飛び込み、皆さまの声を聞き議論を重ね、議会活動を理解してもらうためのより良い紙面づくりに努めてまいりますので、今後ともご期待願います。

議会だより100号

記念特集の発行によせて

中標津町長
小 林 実

平成元年5月の創刊以来、記念となる100号の発行を迎えるにあたり一言お祝いを申し上げます。

議会は、直接選挙により住民の信任を受けた議員で構成され、町の意思を決定（議決）する意思決定機関であるとともに、執行機関を監視・評価する機関でもあることから、現在の地方自治制度における二元代表制において、執行機関と議会とは「車の両輪」に例えられておりますように、運命共同体とも云うべき存在であります。

議会におきましては、こうした機能を発揮するため、広く住民の意見や要望を把握し、その審議の場に多様な住民の意見を反映させ、審議の過程において様々な意見を出し合い、課題や論点を明らかにしながら合意形成のうえ政策を決定していくことが期待されています。

一方で、現在の議会制民主主義を、より時代に合った形に成熟させるため、「開かれた議会」「自立した議会」「効率的な議会」を目指すことが重要と云われている難しい時代の中で、今後とも「議会だより」の充実に努められ、より親しみをもたれる機関紙として町民の皆さんと議会とのより一層の信頼関係を築く架け橋となり、しいては、地方自治の原点であります住民福祉の向上に寄与されますことを節に願ひまして、議会だよりの記念特集の発行によせてのお祝いに代えさせていただきます。



初代 役場庁舎



2代目 役場庁舎

12月定例会で決まりました

平成25年12月9日から13日まで開催し、議決した主な内容をお知らせします。

12月補正額

◇一般会計補正予算

5,546万4千円を減額し、133億9,260万9千円となりました。

- ・議会費 議員報酬等 573万4千円の減額
- ・消防費 根室北部消防事務組合負担金 1,818万5千円の減額
- ・職員費 職員給与費 4,603万3千円の減額
- ・地熱開発理解促進関連事業 115万4千円
地域住民への地熱開発に対する理解を促進し、地熱資源の開発を目的とする。
- ・再生可能エネルギー等導入推進事業 (25年度分) 328万円 総額5,149万円
中標津町交流センターの非常用電源として、公共施設の省エネ促進を図るため
自立・分散型エネルギーシステムの導入を行う。太陽光発電・蓄電設備。

◇国民健康保険事業特別会計補正予算

4,171万8千円を追加し、29億6,366万6千円となりました。

- ・後期高齢者支援金等 4,113万6千円の増額

◇後期高齢者医療特別会計補正予算

33万3千円を減額し、2億2,393万8千円となりました。

◇介護保険事業特別会計補正予算

656万3千円を減額し、14億3,172万9千円となりました。

◇町営牧場特別会計補正予算

53万4千円を減額し、6,746万5千円となりました。

◇下水道事業特別会計補正予算

466万3千円を追加し、11億5,085万4千円となりました。

◇簡易水道事業特別会計補正予算

49万1千円を減額し、4億4,550万6千円となりました。

◇水道事業会計補正予算

収益的支出を629万2千円減額し、4億972万9千円となりました。
資本的支出を22万6千円増額し、2億6,588万2千円となりました。

◇町立中標津病院事業会計補正予算

収益的支出を1億3,569万9千円減額し、42億4,584万円となりました。
資本的支出を481万5千円減額し、4億9,528万5千円となりました。

条例の制定、一部改正等

◆中標津町税外収入徴収条例等の一部を改正する条例制定

各種使用料等のうち、地方税法と同率の延滞金等を規定している条例について、延滞金率の引下げを規定するものです。

◆中標津町立学校設置条例の一部を改正する条例制定

閉校の学校の削除と計根別学園小学部・中学部に校名変更、小学部の位置の変更。

◆中標津町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定

現状、複数年にわたる契約(車両・複写機等)でも単年度契約としていたが、今後は、契約締結時の消費税率が適用、毎年の契約事務が簡素化される(5年以内)。

一般行政報告

一、要望等について

(1) 北方領土隣接地域振興対策根室管内市・町連絡協議会として、9月24日、衆議院北方問題に関する特別委員会が北方領土視察の際、地域の振興を含めた予算確保をはじめ、人的交流に限らない経済交流を含めた新たな交流形態について要請しました。

10月8日には、公明党議員団来根の際、医療・教育・文化の相互利用及び広域観光ルートの設定など要請しました。

(2) 12月1日には、北方領土返還要求中央アピール行動を都心部で街頭PR行進を行い、領土問題早期解決、隣接地域のインフラ整備の推進などに関する要請をしました。

(3) 中標津空港利用促進期成会として、12月3日ANA本社に対し、東京線の中型機を10月まで延長、札幌線における観光シーズンの中間便の大型化、教育旅行の誘致について要請しました。

(4) 北海道町村立高等学校自治体連絡協議会として、自民党過疎対策特別委員会に、自主財源で賄っている高校の校舎・運動場等の整備に係る、過疎地域自立促

進特別措置法における対象事業化、地方交付税での財源措置の拡充について要請しました。

(4) 11月10日、自民党北海道第七選挙区支部、根室管内移動政調会において、救急患者の搬送等人命にかかわる地域高規格道路釧路中標

津道路の早期整備、中標津空港の整備、公的医師派遣制度の確立など要請しました。

二、寄贈金品について

現金で5件、340万円。物品で2件の善意が寄せられました。

教育行政報告

一、芸術文化振興事業

芸術文化祭は、総合文化会館と交流センターの二会場で「芸能発表会・合同華展・お茶会・総合展覧会」など日頃の成果を披露し、ほかには、「しるべつとまつり・書道公募展・美術展」を文化祭関連事業として開催。

計根別地区では、「食の祭典・新そば祭り・フォークダンス発表会」など行われました。

二、各種大会等の出場結果

「第58回北海道吹奏楽コン

「第18回道東ブロック中学校秋季野球大会」で広陵中学校野球部が3位の成績を収めました。

「第29回北海道高等学校新人陸上競技大会」に農業高校二年生女子がハンマー投で4位入賞、「全国高校生みんなDE笑顔プロジェクト」東日本地区大会に北海道代表として農業高校生が2名出場、エゾシカ肉の有効活用として「シカ肉ジャッキー」を研究開発し、優良賞に入賞。

三、各賞受賞

「第1回食と農林漁業の食育優良活動表彰」で農業高校は「消費・安全局長賞」を受賞。

クール」に中標津東小学校スクールバンド部が出場し、銀賞獲得、「第80回NHK全国学校音楽コンクール北海道ブロック」に丸山小学校合唱部と中標津小学校ジャガーズ合唱部が合同で出場し、銀賞獲得、「2013北海道知事杯争奪KB秋季野球大会」に広陵中学校野球部7名と、中標津中学校野球部4名が根室選抜チームとして出場し、準優勝獲得。

「第10回北海道軟式野球選抜選手権大会」に中標津中学校野球部がベスト4の成績、



中標津空港



中標津町交流センター

町政を問う ここが聞きたい

12月定例会では6人の議員
が8問の質問をしました。
理事者からそれぞれ答弁が
ありましたので要約して掲載
いたします。

西2条橋の通行止め及び架け替え工事

吉田 貫一 議員

早期着工に努力します

町 長



質 問

西2条橋は40年以上経過し
車両の通行が非常に危険と判
断をして、11月6日より車両
の通行を全面禁止にしました。

近隣の住民だけではなく多
くの住民がいつもの習慣で橋
の前まで行き、迂回をしなけ
ればならない、そんな不便を
感じているようです。

しかもその通行止めは、架
け替え工事の見通しが全く
立っていない状況で、いつか
ら通行でき
るか分かり
ません。

地域住民
は、架け替
えの早期着
工を求め町
内会の有志
らが中心に
なり署名活



西2条橋

動を行い、4792名の要望
署名を町長に提出しました
が、どのように受け止め、対
処するのですか。

今回の工事に対し住民の個
人的な意見が重要視されてい
るような気がしますが、この
ようなことに惑わされると、
今後の街中の工事が進行しな
いと思いますが、どのように
考えていますか。

町長答弁

署名活動については重く受
け止め、早期の着工に向けて
検討、解決策を見いだしてい
きたいと考えております。

また「心労が生じる」とす
る住民の方は代理人弁護士を
たてておりますので、協議を
行い、何らかの合意ができる
よう交渉していきたいと考え
ております。

今後も街中の全ての工事に
影響が無いように、付近住民・
町内会等に対して説明責任を
十分果たして行きたいと思い
ます。

雑誌スポンサー制度

水石 幸衛 議員

前向きに検討します

教 育 長



質 問

国民の活字離れが進んでい
ると言われているなか、最近
多くの人に来館してもらおう
と工夫を凝らしている図書館
が少なくありません。

そのアイデアの一つに、近
年企業・団体または個人が図
書館の所蔵する雑誌の購入代
金の全部または一部を負担
し、その見返りとしてスポン
サー名の掲示や広告の掲載を
行う「雑誌スポンサー制度」
があり、導入する自治体が全
国に広まりつつあります。

具体的には、雑誌の購入費
をスポンサーに負担してもら
い、代わりに雑誌最新号のカ

バー表面にそのスポンサー
名、裏面に広告を載せたりす
る仕組みが一般的です。

図書購入費の新たな財源の
確保をしつつ、地元企業など
のPRや住民サービスの向上
にもつながる有効な施策であ
り、当町でも実施すべきと考
えますが見解を伺います。

教育長答弁

この雑誌スポンサー制度
は、平成20年岐南町が発祥の
地で、全国で導入する自治体
が出てきておりますが、地方
の図書館では、利用者数や企
業が少ないことから参加者の
減少が見られます。しかし経
費の削減や住民サービスの向
上が図られるとともに地域貢
献の場をつくり、官民一体で
運営する機会と捉え必要経費
や協賛の有無について前向き
に調査研究します。

町政を問う

ここが聞きたい

中標津の情報発信

佐藤 武志 議員

感謝の意をどう表すか
考えていきます

町 長



質問

中標津の情報を町外に発信する方法として、移住促進、札幌・東京中標津会、川崎市との交流が上げられます。

ふるさと納税についても情報発信の手段とすべきことを提案します。

これは地方自治体に寄付することで、制限はあるが寄付額のほぼ全額が控除される制度であり、一定以上の金額の寄付の場合に特典を設けている市町村が多くあります。

最近、特典品がインターネットのサイトを構成し、特典目当ての寄付が増えている自治体もありますが、管内では標津町が特典を用意しており、当町では特典がありません。

今後、町外への情報発信の有効な手段であることを考

え、特典を設けることを要望します。

町長答弁

ふるさと納税制度創設から5年を経過し、総務省調査があり、市町村区では寄付金税額控除について92%が妥当、52%が寄付金が増え、44%が住民以外の方の関心が高まったと回答しています。

しかし、制度が十分に活用されていないとの回答も47%で課題があるとなっています。

特産品を送ることにについては自治体の55%がPR効果が大きく肯定的ですが、24%が制度の趣旨に反し問題があり、規制すべきと回答しています。

本町では礼状と町紹介DVD及び最新の広報を送っています。特産品の送付はしませんが、町への応援の制度ですので、広報の一年間送付により今の中標津を知っていただくことや感謝の意をどう表すか考えていきます。

男女共同参画

端 裕子 議員

男女を問わず優秀な人材を
育成登用して行きたい

町 長



質問

平成11年施行の男女共同参画社会基本法では男女の性別による差別的な取り扱いを受けないこと、男女が個人としての能力を発揮する機会が確保されることとあります。

平成元年から始まった職員の海外派遣研修も25回になりますが、今まで女性職員の参加が一人もいないと思います。が、さまざまな障害をクリアして参加できる、サポートや配慮があつたのでしょうか。

女性に能力向上の機会が少ない理由として、21年度内閣府の意識調査ではそういう組織風土があるという考えが66%もありました。

男女共同参画基本法ができてから14年も経つのですか

ら、職員の総合的行政能力の向上と国際的視野と見識を持つ人材育成を進め女性職員にも部長職（一般職）への登用を考えられるような研修が必要なのではありませんか。

町長答弁

現在国の成長戦略において、社会のあらゆる分野において、2020年までに指導的地位に女性が30%程度になる目標達成に向け、まず公務員に女性の採用・登用の推進や男女の仕事と子育ての両立支援に率先して取り組むとしています。

海外研修においては、男女差別はしていませんが、全ての職員が平等に受講できるような職場内でのサポート体制が重要と考えており、女性職員の派遣研修への積極的な参加が進んでおりますので、優秀な人材は男女問わず登用していききたいと思っています。

松村 康弘 議員

町長



北海道がこの秋から取り組
み始めた「イランカラブテ」
ようこそいらつしやいまし
た、あなたの心にそつてふれ
らせてください、というアイ
ヌ語をハワイの「アロハ」と
同じ用い方をする事によつて
北海道の存立の意義と観光の
振興を図ろうという運動は、
その根底に哲学者梅原猛氏の
説く日本人の精神を基層を成

当町は中標津神社チャシを有し、多くのアイヌの方々も住んでおられます。

北海道に運営していただいている空港もあり、主体的に取り組む必要があります。

また子ども達にもアイヌ文化を語り継ぎきっかけとしていかがでしょうか。

広域観光地である北海道において共通のキーワードを

もつてお客様をおもてなしする
という意味で「イランカラ
プテ」運動は意義深いと感じ
ており、北海道や近隣の自治
体と連携した取り組みを考え
ます。

教育委員会では学校の授業をとおして各時代の人々の暮らしや文化を学ばせており、その中にはアイヌ文化も含まれて、一方で昨年度から編まな作業を進めてきた社会科副読本『私たちの町なかしべつ』の中では根室地方のアイヌの人々の生活や和人との関わりが記述されており、今後さまざまな学習機会を創ってまいります。

◇景観形成への積極的な取り組み

景観は以前のような自然な合意が忘却されている。せめて景観指針が必要ではないか。

（啓弁） 第6期の後期の早い時期に対応します。

◆きれいな町にする条例の強化（質問）
きれいな町にする条例におけるポイ捨て対策で罰則を入れて強化すべきでは。（答弁）更に啓発を強めて対応します。

瀬波 秀人 議員

教育長



2期目への抱負と、具体的な目標があれば聞きたい。次の3点についても触れていただきたい。

- 1、中央教育審議会の教育委員会制度についての答申案
- 2、道教委の全国学力テスト全国平均以上目標
- 3、全国学力テスト学校別結果公表の是非

子どもたちには自然とともに心豊かで大からに、まっすぐに成長してほしい、大人の温かいまなざしが大切です。

基礎学力の定着（計根別の小中一貫教育は一つの柱）と生涯学習（少年団・スポーツ・郷土学習等）の充実に取り組んでまいります。

- 1、現在の教育委員会制度では責任者が教育長なのか教育委員長なのか合議制の教育委員会なのか責任の所在が不明瞭、危機管理能力が不足などの指摘があり、改革が進められているので、今後の動向を注視していきます。
 - 2、生まれ育ったところによつて学力に大きな差があつてはならないので目標は必要だが、学校間の序列化や過度の競争など弊害があつてはならない。家庭学習時間の確保、教員の教科指導力・学級経営力、学習規律の徹底などに取り組んでいきます。
 - 3、学力テスト本来の目的は学習到達度を測り、指導に役立てることであり、学校の順位付けにならない配慮が必要です。
- 現時点では各学校の平均正答率を一括して公表することは無意味と考えています。

りの歴史

“中標津村”誕生から現在まで

～昭和21年7月1日標津村から分村～

昭和の主な出来事

- 昭和23年6月 亀子卓議長以下17名の議員総辞職。
昭和24年10月 計根別中学校に移動議会をもって招集。
昭和25年1月 町制施行される。当時の中標津村の現況表では、戸数2,112戸、人口11,370人で町としての要件に関する道条例は人口5,000人以上、中心街地域戸数700戸以上となっており、町としての要件は具備していた。
昭和29年3月 役場庁舎の新築議決となる。
昭和30年4月 別海村豊岡、協和部落が中標津町に編入。
昭和32年1月 臨時議会で町有財産条例制定を議決する。
昭和33年3月 中標津小学校をブロック造り2階建て建築を議決する。
昭和33年9月 中標津町議会事務局設置される。
昭和34年7月 中標津農協合理化澱粉工場建設敷地売却問題で表決の結果、賛成多数により売却を決める。
昭和35年12月 警察署誘致について、請願、陳情の結果道議会において中標津町に新設することに採択された。
昭和37年5月 会計年度制度の改革要望書を内閣総理大臣他に提出。
昭和38年12月 中標津消防庁舎建設問題にからんで第一分団員総辞職。
昭和40年6月 中標津町町民憲章が制定される。

解説・新しい地方自治

(昭和42年当時の原稿を
そのまま掲載しています)

○「地方自治」とは

戦前と戦後では相当違っている。戦前のものは、中央集権が強く、自主性とか、自律性と言う点では自治の名にはほど遠いものであったが、戦後における地方自治は、自主財源の賦与、個有事務の拡大等従来のヨーロッパ式のものから、アメリカ方式による住民自治の徹底を図ったものとなり、国との関係でも、思い切った地方分権が行なわれ、町村長、議会の権限が大巾に強められ、市町村は、基礎的地方公共団体として、地方自治の中核体としての地位が与えられた。

○「委員会制度」とは

議会には、法律（地方自治法）で定められた委員会制度があります。

この制度は、昭和22年に制定されました地方自治法によって、始めて生れた制度です。

戦前の町村制時代にはなかった制度であります。委員会は二種類の委員会から成りたって、常任と、特別委員会に分かれ、いずれも町の条例でおくことができるようになっています。

中標津町の場合、総務、文教厚生、産業、建設の四常任委員会を設けており、議員は何れかの委員会に所属し、任期は二ヶ年となっております。

また、特別委員会は議会が必要と認めた場合に設けられ、現在、「中標津病院建設特別委員会」と「郵便物日曜配達休止請願審査特別委員会」の二種が設けられ、この問題が解決しますと解散となります。

年度別の当初予算総額

昭和21年	101万1千円	昭和35年	1億2,041万6千円
昭和24年	1,606万6千円	昭和36年	1億5,160万円
昭和25年	4,477万8千円	昭和37年	2億1,250万円
昭和26年	6,637万円	昭和38年	3億650万円
昭和27年	6,100万円	昭和39年	2億8,700万円
昭和31年	5,632万円	昭和40年	3億1,200万円
昭和32年	7,510万円	昭和41年	3億6,700万円
昭和33年	9,800万円	昭和42年	5億300万円
昭和34年	1億1,757万8千円		

①座右の銘 少欲知足、感謝、助け合い
②任期中の活動、政策、抱負 少くも働く者（朝4時から牧場勤め）として、新しい！新風を吹き込む。議会に新風を吹き込む。若い人、女性、そして大多数のふつうの生活者の中から議員が出てくるよう、出てこれよう、その仕組みづくりに取り組む。



瀬波 秀人 1期

議員一人ひとりの声・顔がみえすらいと町民の皆さまからの意見があり、今回一部ですがメッセージを載せましたのでご覧下さい。

議会だよ

創刊号からの歩み

中標津町議会だよりは昭和42年から始まり昭和53年6月15日、第38号で一度発行が途切れてしまいました。

当時は、議会事務局が主体で発行していたのですが、平成元年5月から、議員主体で行うべきいうことから、議会広報特別委員会を設置し議員の手作りで町民の皆様への関心を高めていただこうと年4回発行することにしました。

引き続き39号にしようかとの意見もあったようですが、元号も変わった年でしたので平成元年創刊号として始まり、今回で第100号となりました。

過去の記事を見ていきますと、平成2年には公職選挙法改正され、議員への寄付行為、年賀状等の挨拶状、花輪・香典、祝儀など罰則を持って禁止されたこと、3月の定例会が防風雪のため通行止めになり議員12名しか出席できず（当時の議員定数は26名）定足数に達せず延会になったこともあったようです。

また、町民の声を載せていた時もありました。

平成4年には中標津町立病院問題「総合病院化」病院整備調査特別委員会を設置し何度も審議を繰り返し、平成6年に病院建設特別委員会に名称を変更され、建設へ向けての審議を行った結果などが掲載されていました。

② 女性の目線で、のびのび子育て支援と福祉の充実、障がい者支援、高齢者が楽しく暮せるまちづくりに取り組み努力してまいります。

① 為せば成る 為さねば成らぬ何事も



上原 房子
1期

平成の主な出来事

- 平成元年10月 中標津小学校校舎完成。
シルバースポーツセンター・あずま公住が着工し近代的な公共施設の完成を町民と共に心待ちしていた。
- 平成4年10月 温水プールオープン。当時の水泳選手鈴木大地がオープニングセレモニーに参加。
- 平成5年2月 武道館オープン。
- 平成5年7月 中標津⇄東京 中型ジェット機就航。
- 平成6年9月 中標津町交流センター完成（計根別）
10月 東方沖地震マグニチュード8.1、被害総額95億円。



- 平成7年5月 開町50年、空港開港30年。
7月 総合文化会館オープン。



- 平成8年4月 中標津高等養護学校開校。
- 平成8年12月 中標津警察署交番開所。
- 平成9年4月 議会だより33号からA4サイズとなる。
- 平成10年12月 新町立中標津病院完成。
- 平成11年9月 青少年のいのちを守る住民大会。
- 平成12年5月 議会だより45号からカラー版となる。
- 平成13年8月 議会だより50号発刊。
- 平成15年4月 総合福祉センターオープン。
- 平成15年12月 中標津中学校校舎完成。
運動公園・スピードスケート場等完成で元オリンピック選手三宮恵利子さんらによる記念滑走。
- 平成17年3月 議員定数24名から18名に条例改正（平成20年の選挙から実施）

議会改革特別委員会 活動報告

「アンケート調査結果と分析」

第1回 3月21日

最初の会議ということで委員全員に改革に対する想いを語っていただきました。

●選挙運動のありかた、倫理条例の見直し、議場傍聴者への資料配布。
●災害等の危機マニュアルの徹底、福祉灯油の再開。

●予算委員会を議場で一括審議。
●議会報告会のありかたを考える、議会だよりの記事内容の検討。

●全員協議会を充実し、議員間の討論を活発に、議員個々の資質を高める手だてを考える。

●町民団体との議論の場を委員会ごとに多く設定する。

●会派制、政務活動費、通年議会の調査・研究。

◇改革委員会の今後の進め方

●議員、町民への意識調査。

●平成20年に行った議会改革の検証。

●議員定数の問題を自ら考える。

●分科会を設置（町民アンケート策定委員会・議員定数検討委員会）

第2回 5月24日

・分科会での検討報告

（町民アンケート策定委員会）

町民・議員アンケートの設問説明の後、修正会議を行いました。

（議員定数検討委員会）

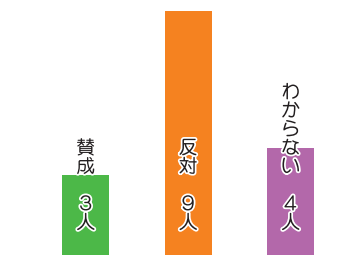
議員定数問題は、議員の活動、議会活動を改めて論議し規定していく必要があり、議員向けに「考え方・結論」を提示するのではなく一般町民の声を聞くことも必要であるとの報告をしました。

第3回 6月11日

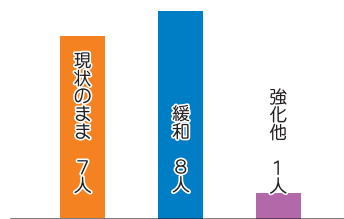
●議会改革先進地の会津若松市議会の調査、研究。

●議員向けアンケートの集計報告。

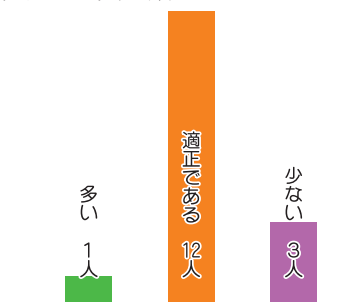
会派制の導入について



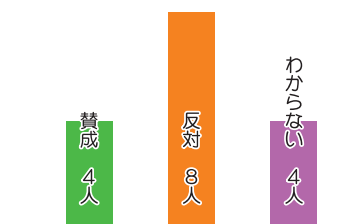
政治倫理条例の見直しについて



現在の議員定数をどう思いますか？



政務活動費の導入について



アンケート分析

集計結果から議員定数の設問は、欠員2名の16名の状態で、一人ひとりの仕事量が増えたこと、議会での民意が反映しづらくなることを懸念していることだろう。

会派制、政務活動費、通年議会の設問は、今まさに改革委員会が取り上げているところで、全議員に浸透していないため数字が割れたのだろう。



水石 幸衛 2期

① 誠心 誠意

② 経済活性化。

学校の安全で学べる環境の整備。

子育て支援の充実。

第4回 8月5日

町民への意識調査の内容、配布先の最終考察。決定後議員自ら配布を行いました。

第5回 9月30日

町民アンケート調査の結果の内容の分析、検証をしました。全町内会連合会をはじめとして58団体に配布しました。535枚配布し、回収359枚、67.1%の回収率でした。

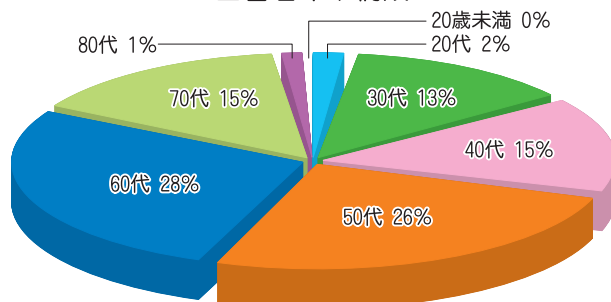
皆さまからのご意見

定数や報酬についても両論ありますが、若い世代が議員になれるよう報酬を上げるべきとの意見が複数ありました。「議員一人ひとりの活動が見えない、分からない」という意見が

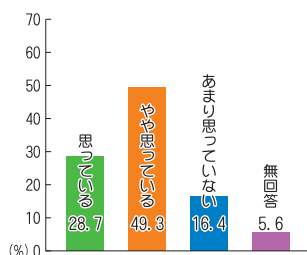
多くあり、議会としては各議員が情報発信に努力することが求められます。また有権者として、特に投票した議員の活動については注視し、報告を求めているのではないのでしょうか。

委員長 松村康弘

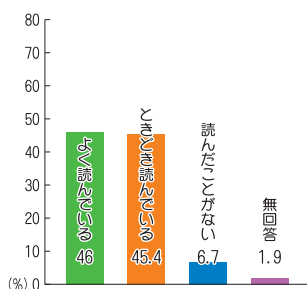
回答者年齢構成



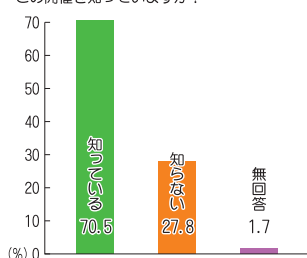
中標津町議会は議会だより・ホームページ・議会報告等の情報を発信していますが、町民の皆さんにとって十分な情報量だと思いますか？



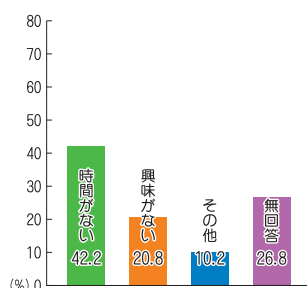
議会だよりを読んだことがありますか？



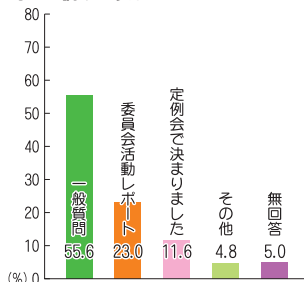
中標津町議会は年に一度、議会の活動及び町民の皆さんの要望などを聞く「議会報告会」をこれまで5回(10箇所)開催しています。この開催を知っていますか？



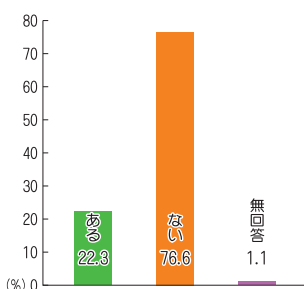
「議会報告会」に参加したことがないのはなぜですか？



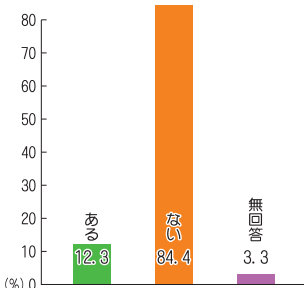
議会だよりの中のどの部分を興味をもって読みますか？



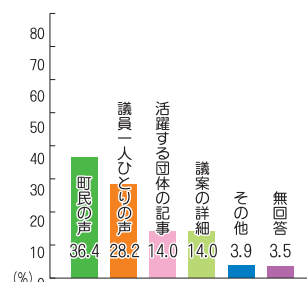
議会報告会に参加したことがありますか？



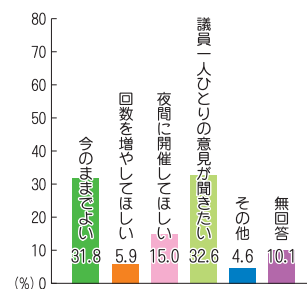
議会を傍聴したことがありますか？



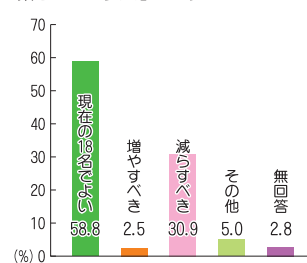
議会だよりによりの様な記事を書いたらよいですか？



議会報告会に何を期待しますか？



平成20年の選挙より、議員定数を24名から6名減の18名としましたが、現在の議員定数をどのように思いますか？



佐野弥奈美 2期

① 広 壮 豪 宕

② 子どもからお年寄りまで、健康で安心して暮らせる町づくりを目指していきたい。自然災害にも強い町、若い人が大勢町づくりに参加、興味をもってくれるような町づくりができれば良いと思います。

真の地方分権が進捗しつつある現在、町民の各層の意識を代表して議会に登壇してくる議員の責任も、ますます重くなりつつあります。町民の皆さまからの要望を行政に伝えることから、行政活動の監視にはじまり、独自の知恵を結集した政策立案などが議会に求められるようになって来ました。

特別委員会の議論を開始するにあたり町民の皆さまに対しアンケートによるお尋ねをいたしました。そのなかには6割を超える皆さまが現18名の定数を支持する意向をしめされ、当町の議会活動は一定の評価をいただいていることに、議会改革の努力や、議会広報が町や、町民のことを考え、行動していただくきっかけとなるような編集方針をとっていることが成果となつて現れてきていると感じております。

当委員会はそれらの風潮を先取りし、議員の政治家としての専門性をさらに強化することも視野に、政務活動費などについてもタブーとすることなく議論を深め、今後議会がなす、様々な議決について主権者である町民の皆さまからしっかりと共感をいただき、将来の町の姿に共同の責任を自覚していただけるレベルに到達するまで、改革を推進していく所存です。

総務文教常任委員会

学校視察

(主な要望を掲載します)

●開陽小学校

- ①閉校になった後の池の安全対策。
- ②構内道路の冬期間の除雪を町か道でできないか。

●中標津小学校

- ①壁の塗装がひどい。釧路方面からの玄関口でもあるので、数種類の塗料を試すとか、剥がしてコンクリートの地肌にする選択もあるのでは。

●中標津中学校

- ①手洗いと水飲み専用の蛇口があり水飲みが混み合う：一考を。
- ②外の排水対策を。

●丸山小学校

- ①夜間の電気暖房が切れてしまう、何か対策を。

●計根別中学校

- ②視聴覚室の廊下に上履き用の箱の設置を。

●武佐小中学校

- ①屋根の雪が原因のすが漏り。
- ②熊の出没が多い。ごみステーションのドアの改修を。

●俵橋小学校

- ①給食用保温庫が老朽化。
- ②ごみステーションのドアの改修を。

●東小学校

- ①網戸の設置を。

- ②扇風機を設置したが、夏期間教室の温度が上昇する。
- ③ランドセルロッカーの収納改善を。

●広陵中学校

- ①非常階段に腐食あり対策を。
- ②新設のテニスコートのライン改修を。
- ③窓サッシに網戸の設置を。
- ④トイレの換気扇が動かない。

(後日原因判明)

●計根別小学校

- ①新校舎の建設のため、生徒は現校舎を大事にしている。

●西竹小学校

- ①校舎の屋根の塗装を。

●その他

教員住宅周辺の草刈を要望されましたが、入居している教員自らがするように努力してほしい。

当幌川遺跡二次 発掘調査について

三年目になる千葉大学文学部考古学研究室の発掘調査現場を視察しました。遺跡はカリカリウス文化、トビニタイ文化の各々の2つの竪穴住居跡であり、当幌川河岸段丘に位置しています。発掘作業は男女学生約60名で熱心に行われていました。

なお、調査結果等は、町民対象の報告会で話されています。



当幌川遺跡発掘現場



鈴木克弘 2期

① 有言実行

② 議員になり5年が経ち皆さまの付託に応えるべく日々努力している毎日です。行政に目を配りながら、また力を合わせ町づくりを進めるために議会も変わっていかねければならない。自身の資質、議会の意識の向上を目指し議会改革を推し進めていきたいと思っています。

厚生常任委員会

視察レポート

特定非営利活動法人「森の家」視察

NPO法人「森の家」は、旧根室振興局耕地監督員詰所の物件を、中標津町から貸与を受け、本年2月上旬に新施設に移転をしました。

改修工事を終了して、施設の玄関などはバリアフリー化になり、障がい者施設へと様変わりしました。

ここでは主に石鹸の製造や手芸品・木製品などを作っており、この日も数十人の利用者が真剣な眼差しで作業に一生懸命取り組んでいました。

「森の家」では、一般就労への支援なども進めています。現実には厳しく就労先が決まらなかったり、福祉施設への発注が少ないなど、利用者への手当て（給与）の確保ができないなどの意見がありました。

企業や団体と連携をとり、安心して障がい者が地域で生活や働くことができる環境をつくる必要性を改めて実感しました。

中標津町社会福祉協議会

視察と意見交換会

職員含めて約15名での意見交換会になり、はじめに社会福祉協議会の方から、在宅介護者が集えるサロンの地域福祉活動事業や訪問介護サービスである訪問入浴事業さらには、昨年4月からスタートした成年後見人制度事業など、平成24年度の事業報告の説明を受けました。



総合福祉センター浴室

委員からは、（仮称）総合体育館建設に伴いトレーニング器具が撤去されるとの質問には、健康増進の観点から故障している器具など更新をしていくとの方針を確認しました。（1台更新）

また、介護保険制度の見直しから、要介護3以上からの入所に限定する方針について、今後在宅介護の増加や介護費や医療費が増えていくことが考えられるので、これからサロンや予病

に対する施策の必要性があるなど、さまざまな意見が出されました。

社会福祉協議会の方からは、訪問入浴事業のご苦労や離職者が高い原因として、収入が低いことや心身の負担が大きい業務内容になっていることで、そのためにも介護報酬の見直しと、業務量や難易度に応じた、介護体系の見直しをして欲しいとの強い要請がありました。

意見交換会後は、トレーニング器具がある健康増進室や浴室など「プラット」の施設内を視察しました。

最後に訪問入浴などに使用する在宅福祉移送車両と、介護従事者に配慮した軽量化の浴槽なども視察しました。

信頼される社会福祉協議会との方針で、職員一丸となって各事業に取り組んでいる姿勢を感じました。

今回介護従事者のご苦労や、直接現場の声を聞くことができ、有意義な意見交換会になりました。



弾正原 正 2期

① 一期一会

② 基幹産業である農業の振興と、活性化に努力します。
現在建設中、今後建設予定の公共施設について充分なチェックをします。
町立中標津病院に係わる諸問題や小中学校の学力向上のために教育問題にも取り組んでおります。

産業建設常任委員会

所管経済団体との意見交換会

一般社団法人なかしべつ観光協会

委員長より協会の活動状況、今後の計画をお聞きし、また要望等があれば当委員会として取り組んでいきたいとの挨拶。

板野観光協会長より、これまでの大量送客により決められたコースを周る発地型観光から、個人・少人数のグループが旅の目的を「より明確に」「より深く」追求し何度も足を運ぶ地型観光へと移行するなか、協会として体験・滞在型観光の推進を図り、町内はもとより、広域的な観光振興を目指しますと挨拶。

「目に見える北方領土」をテーマに教育感をだした修学旅行の誘致、ロングトレイルを活用した観光創出事業の説明を受け、委員会から道外視察で行った尾道フィルムコミッション事業（映画やドラマの支援による街づくり）を説明し、意見交換をしました。要望として、観光の拠点となる施設の早期建設、スポーツ大会、合宿等、おもてなしする上でも教育委員会との連携をしたい。

当委員会としてもできることから早急に取り組む事を考えています。

計根別農業協同組合

西塚組合長より私達は農業に対して、根室管内の農業の中心であり、支えていると自負の元に農協・組合員のために日々努力しており、議

員の皆さまには機会を作っていただき心から感謝をしますと挨拶。

1、新規就農問題Ⅱ別海研修センターを1市4町で運営し、後継者対策として一丸となつて利用しやすい方法を考えてほしい。

2、家畜伝染病Ⅱ現在助成等対応していただいています、現状では上限があり大規模化により枠の拡大をお願いしたい。

3、鳥じゅう対策Ⅱエゾシカ・キツネ・カラスなどが、牛舎に侵入して仔牛・餌などに悪影響を及ぼしていますので対応をお願いしたい。

4、臭気対策Ⅱ臭気対策は色々と試みましたが、資材コストがかかりすぎ行政の支援をお願いしたい。

TPPの問題は農協だけではどうする事もできず実際なった時には行政にも地域産業を守る支援とご理解願います。当委員会としてもできることから取り組みたいと思っております。

第6回

全国ロングトレイルフォーラム

交通センターから開陽台、レストラン牧舎、養老牛温泉、モアン山、西別岳山小屋、そして西別岳山頂から摩周第一展望台へと続く尾根、終点は弟子屈町のJR美留和駅までの全長71.4kmの歩く道を、「北根室ランチュウェイ」と言い「フットパス」とは違うジャンルです。

北海道では初めての全国ロングトレイルフォー



端 裕子 2期

① 知 足 安 分

② 町民の意見を議会に反映するのが議員の役割です。今回厚生常任委員会活動で、社会福祉協会との懇談をしました。これから各団体と懇談を通し、情報交換や、現場の意見を聞いて勉強を重ね、女性・高齢者・子ども達の福祉の向上に向けて議員活動の糧にしたいと思います。



ーラムが中標津町で開催され、日本ロングトレイル協議会には10団体の加盟があり、北根室ランチュウェイも昨年2月に加盟。日本で初めてロングトレイルを始めた「信越トレイルクラブ」の木村氏、

JTB総合研究所の篠崎氏らが「北根室ランチュウェイ」の景観に、国内有数の酪農地帯と雄大な景色は、時に日本離れして海外にも売り込めそうだと絶賛していました。

なかしべつ観光協会はもちろん、パネラーとして参加した町長も観光のモデル事業として支援していくとコメントしていました。

決算審査特別委員会報告

審査月日 平成25年9月13日～11月5日までの6日間

審査結果

平成24年度中標津町一般会計外8会計の決算について、当委員会で慎重に審査した結果、厳しい財政状況のなか、各会計とも効率的な予算執行がなされ、地域の発展並びに町民生活の向上が図られていることに敬意を表します。

しかし、各会計の審査過程においては研究・検討すべきこと、更に個別に改善や創意工夫をすべき事項もありますので、次の点に留意して今後の行政執行にあたっていただきたい。

歳入にあつては、

町税・国民健康保険税など、納期回数が増加やコンビニ納税、滞納整理機構の回収により収納率が向上している事は評価に値します。

また、公営住宅使用料、学校給食費、保育料についても収納率は

向上しておりますが、依然として相当の未納があることは見過ごせません。

町民負担の公平性と財源確保に向け収納率の向上に一層の努力を望みます。

歳出にあつては、

1. 町立保育園の運営管理経費の総額がおよそ1億3千万円なのに対し、民営の泉保育園の同経費の総額は6千600万円強となっています。

定員は同じ90名であることから、町立保育園の運営には再考の余地があると言わざるを得ず、創意工夫を期待します。

また、へき地保育所運営管理経費について、入所人数の見込み違いによる不用額が出ていますが、市街地保育所の利用状況も含めより詳細な調査をし、体制について先んじて検討する必要があると思

います。

2. 冬期における除雪の問題は、町民の関心も高く、このために苦情も多い。

出動のタイミング、民間業者への指導、排雪の判断等、一律の基準どおりに対応できるものではなく、経験に頼る面もあるので難しいとは思いますが、最大限の努力、工夫をもって町民の期待に応えていただきたい。

3. 道路維持補修経費及び街路維持補修経費における部分舗装補修工事について、特に今季の路面状況の悪さから、この部分の工事費の増額等も含め、今後においても研究されたい。

以上、留意点を指摘し、町民から信頼される行政全般の執行に更に努力されることを要望して、平成24年度の中標津町各会計決算は、適正であると認定します。

決算審査特別委員会

委員長 熊倉 重樹



渡邊 将史 2期

① 転ばぬ先の杖

② 防災行政無線の設置
今年3月中標津町で猛吹雪で5名の方が亡くなりました。自然災害から人的被害を未然に防止するため、公衆トイレの改善。
各家のトイレが洋式になっているので足腰の弱ったお年寄が改善してほしいとの声。



審査風景

質問はこうなった

これまで各議員から多種多様の一般質問が行なわれています。その後どう進んで、どのように町政に反映されたのか、その内容の一部を抜粋して、結果・進捗状況を調査し、町民の皆さまに報告します。

家畜ふん尿・臭気対策

平成17年9月

ふん尿臭と町の

イメージの対応研究

質問

空港周辺のふん尿臭に対し、中標津農協は、スラリーインジェクターを導入して対応している事は承知しています。

しかしながら、ふん尿の堆肥化無臭化については、ここの農家にゆだねられていて、乳質改善のようには農協で取り組んでいるという現状には至っていないのではないか。

答弁

本町の観光を考える時にも酪農の発展するためにも、臭気問題は避けて通れない事です。

ふん尿臭気対策として、スラリーインジェクターを導入して直接地中にスラリーを注入して臭気低減に取り組んでまいります。

その後

スラリーインジェクターを使用してみると重量があつてか使用できない草地があるので、同型の軽量のバンドスプレッター、地中注入をするので主に使用しています。

一台当たり作業単価1万2千500円、中山間事業と町からの助成を受けています。

平成23年9月

臭気・ふん尿に対する取組

質問

過去5回の臭気に対する質問の主な回答はEM菌・曝気処理、家畜糞尿対策会議の設置等々の活用であり具体的な臭気根絶には至っていません。

一方学校、幼稚園の通学、通園時の散布自粛は守られているようです。

道内では、エアレーション処

理により畑作、大豆などに有機肥料として還元しているところもあり、当町でも対策を進めてはどうか。

答弁

臭気の抑制方法については、スラリーの散布機械を従来機種からスラリーインジェクターやバンドスプレッターに変えることにより、ある程度軽減されることが実証試験から確認できました。

この問題は一自治体や一農家で解決できないことから、処理施設整備費の国庫負担を要望していますが、助成制度は確立されていません。

いずれに致しましても簡単に解決できるものではないので、関係機関と連携を取り、さらなる臭気の軽減に努めてまいります。

その後

時期になるとふん尿臭が市街地や空港周辺など地域全体に漂い、農業者の努力は認めつつも、住民



佐藤 武志 3期

① 道は自分でつくる 自分でひらく

② 少子高齢化社会を迎える中、
・ 教育施設の整備拡充及び就学援助制度の充実をはかるための活動。
・ 高齢者の方の立場になり介護・医療サービスの実践をはかるための活動。

生活や観光振興のためにも、是非消臭したい。

既に道内ではバイオガスプラントが家畜ふん尿をメタンガス発酵させ臭気を取り除き、ガスは発電利用し消化液は牧草地に還元する方法で、ふん尿の肥料効果も向上することから実施されている。

国が自然エネルギー発電の買い取り価格を増額したことが追い風となっており、当町でも導入に向けて調査段階に入っている。

地域全体の取り組みとして解決し「環境都市なかしべつ」の面目躍如となることを願う。



バイオガスプラント

木材利用

平成15年12月

地場木材の積極的利用

質問

林業は外材輸入に翻弄され構造的な不況にあり、自給率は20%以下。造林地が荒廃するにまかされておき、住宅や各施設に地元木材の使用をうながす助成金交付を始めて、高い評価を得ている自治体もあるが当町の考えはどうか。

答弁

国・道の施策とも運動をとり抜本的見直しを図ります。

平成22年10月

公共建築物の木材利用

質問

道が整備する公共建築物における地域材利用基準並びに、木材利用促進に関する基本的な考え方が示されたが、当町が計画する公共建築物に国や道の方針にそって、町も制定すべきと思うが町長の考えはどうかか。

答弁

当町の公共建築物等には、積極的に木材を取り入れ温もりのある建物としたい。木材利用推進方針の策定については、関係機関と協議・検討します。

AED(自動体外式除細動器)の普及

平成17年12月

平成18年9月

公共施設に設置を

質問

平成17年12月・18年9月公共施設にAEDをできるだけ身近に多く設置し、多数の人々が使用できる社会環境を整備する必要がある、公共施設に優先的に設置することを考えていますか。

答弁

設置に一台35万円、耐用年数7年、その他消耗品等も必要であり、予算措置も必要になるがその重要性は認識しているので、体制整備に努めていきたいと思います。

その後

平成19年度より公共施設にAED

その後

近年建築された学校等公共建築物には十分木材が利用され、(特に内装材として)建設予定の仮称中標津町児童センターは木造平屋建てなど今後も多に利用される見通しである。

質問

平成22年9月
24時間体制を



平成22年定例会の一般質問で休日や夜間でも町民が24時間使用できるようコンビニエンスストアにAEDを設置するべきではないか。

答弁

24時間使用可能となるコンビニへの普及は非常に有効と考え、設置に向け検討してまい

ります。

その後

救急救護体制の向上を目的に町民が24時間利用可能となるコンビニへ平成24年7月中標津市街5件、計根別地区1件にAEDを設置しました。

現在消防署では、AEDの貸出しも行っておりスポーツ大会また多くの人が集まる祭事などにも利用できる環境になっています。

一般質問はもちろん、各委員会での質問について私たち議員は、進捗状況を注視していかなければなりません。



柴野忠征 3期

① 健康一番

② 平成16年に議席をいたしてから丸9年。昨年の選挙では福祉の充実を重点にご支持をいただき、しかし国の政策の福祉は逆の方向に動き、地方自治体に福祉の充実を求めることは容易ではありませんが全力を尽くしたい。8月以来体調を崩し思うように活動できませんが「健康一番」を肝に銘じ頑張る所存です。

根室町村議会議長会主催

議員研修会

日時 平成25年10月12日

会場 別海町マルチメディア館



「低下傾向にある各種選挙の投票率と広報との関連」

釧路新聞社取締役編集製作局長

堀口義彦氏



昭和58年頃の選挙投票率から見て、最近ほどのレベルを見ても低くなって来ており、候補や有権者のどちらも投票率の低い中で当選しても不安ではなからうかと思えます。有権者も自分達の生活を変えたいのであれば投票するべきであり、候補者の中に気に

入った人がいないなどの理由でも、選挙をしなければ無投票で当選となり、暮しややすい社会はどんどんと遠退いてしまふことを考えてほしい。また、無投票なら立候補するという話も聞きますが、それは論外である。投票率を上げるには、広報紙などのPRで住民の関心を高め、内容も住民目線でわか

りやすく、親しみやすい記事を作り、言葉の解説をつけるなど、広報紙の作成にあたっての盲点を教えていただきました。選挙は有権者の意志を引き継ぐものであり、投票率が低くても、行使できる選挙はするべきであると話していただきました。議員からの質問で、出口調査は色々な選挙でされますがその効果はあるかどうかと言う事に、対し、期日前と当日の数字には、結果として大差はないとのことでした。

(上原 房子 議員)

「TPP情勢について」

北海道根室振興局地域政策部長

桑名真人氏



・交渉参加までの動向
・民主党政権時の参加検討表明から現安倍政権が交渉参加するまでの説明

・第19回TPP交渉合会(ブルネイ)
道職員による情報収集では、総論として決まっ

たことをひっくり返すことはできないのではないか、農業を守るといふ観点で交渉にあたっている。交渉官会合の分野別で競争政策・投資・環境等の説明を受けた。

・TPP協定の概要
21の作業分野があり、そ



吉田 貫一 3期

① 話さなければ分からない

② 期間中に取り組みたい活動
暴風雪・暴風雨の対応、全災害の対応等について。

今取り組んでいる活動
町内西2条橋の通行止め架け替えなどについて。

それぞれのメリット(貿易が盛んになり中小企業も海外で活躍しやすくなる)デメリット(農業の衰退や自給率の低下、質の悪い食品・医師・弁護士などが流入する)の説明をうけた。

・TPP協定に係る道の体制
平成24年に北海道TPP問題連絡会議を設置、それ以降に6回の要請活動を実施。交渉の動向を積極的に収集するため東京事務所2名、政策局に1名増員して体制を強化しました。

質疑
情報の開示を素早く的確にしてほしい。

答弁
国から流れる情報を待つのではなく、道として自らの情報のため人員を増やし体制を強化しましたのでいち早く情報を開示していきたいと思います。

(鈴木 克弘 議員)

平成25年度 根室地方森林・林業・林産業 活性化推進議員連盟協議会研修会

10月22日、「根室市市民の森」「春国
岱原生野鳥公園ネイチャーセンター」
で38名の参加で開催されました。

「根室市市民の森」は森林に親しみ、
自然を大切にする心を育み、緑化思想
の高揚を図るなど住民参加型の学習林
を目ざし、北海道・根室市の事業費約
4億5千万円で平成20年に開設されま
した。

総面積は天然林8・04haを含み37・
42haです。植樹面積は15・12haで、北
海道が22種、根室市が32種、団体が4
種植樹しており累計本数は1万1千663
本です。付帯施設として作業小屋2棟、
バイオトイレ1棟があります。

野鳥や自然観察が楽しめる憩いの森、植樹祭及び団体などに植樹な
どの市民と協働の森づくりの活動が今後とも期待されます。

「春国岱」は風蓮湖とオホーツク海を隔てる長さ約8km最大幅1.3km
の巨大な砂丘に貴重なアカエゾマツの純林もあります。また野鳥の宝
庫でもあり、256種が確認されて全国の40%にあたり、平成17年に「風
蓮湖・春国岱」ラムサール条約湿地に登録されています。

根室市は、風蓮湖・春国岱の貴重な自然環境を保持し、自然保護思
想の高揚を図る目的で、平成7年度「根室市春国岱原生野鳥公園ネイ
チャーセンター」を設置。自然観察など各種事業や鳥類、地形、風倒
木の調査を実施し、環境教育を通じ、自然の素晴らしさを伝える活動
を行っています。

(佐藤 武志 議員)



根室市市民の森



ネイチャーセンター

東京・札幌中標津会



「ふるさと」を合唱

東京中標津会は、11月23日、
94名の出席者のもと市ヶ谷で行
なわれ、会員同士の親睦を深め、
ふるさとのまちづくりなど意見
交換をしてまいりました。

札幌中標津会は11月30日に芸
文館で開催され76名の方が出席、
ふるさと中標津のまちづくりに、
提言をいただいてまいりました。
議会から、東京中標津会に5
名、札幌中標津会に5名が出席
し交流を深めました。

(後藤 一男 議員)



熊倉重樹 4期

① 決断と行動

② 高齢者福祉(特に地域交流)と子育て支
援に取組んでいる。町内会館の建設と今後の利活用の検討。
地域交流の継続。子育て支援では、通学路の歩道整備や「こ
んにちは赤ちゃん事業」などを提案。
里親として7歳女兒(1才から)の子育
てを実践。

中標津町

中学生議会

「中学生議会」を傍聴して



議会形式で中学生の質問に町長・教育長が答弁する「中学生議会」が11月25日、初の議事堂で開催されました。

「中学生議会」の趣旨は、本町の次代を担う子どもたちが、日常生活での体験や将来への希望、また、身近な問題や将来のまちづくりを自ら考え発表することにより、社会に参加する意識を育むとともに、町に対する子どもたちの要望や提案などを今後の町政運営の参考にしようとするものです。

緊張感あふれた議員の自己紹介、町理事者たちの自己紹介、町長のあいさつがあり、町政に対する質問が行われた。

議員は男女各5人の計10人、議長は計根別中の土井上さん、副議長は武佐中の小沼さんが選出されました。

質問のテーマとしては町の道路・森林管理・町の公園・野生動物・計根別小学校・町の自然と環境・環境とまちづくり・町のHP・町の医療についてでした。

その中では、道路の舗装、除雪体制、チ



飯島 佐市 4期

① 七転び八起き

② 医師確保が厳しい状況、安易な救急外来を利用する「コンビニ受診」は急患の措置の遅れや、医療現場の疲弊を招くことから町立病院の役割を理解し適切な利用をお願いします。コンビニ受診を減少する為に町民一人一人の体力増進を図っていききたい、まずは身近な朝のラジオ体操に参加し健康な体をつくりましょう。

ナナ川近くの風倒木、近隣公園の時計設置、遊具の設置、クマ・シカ等の捕獲や駆除、計根別小の利活用、ゴミと清掃活動、中標津町きれいなまちにする条例、わかりやすいホームページ、町立病院と地域医療など、日常疑問や不便に感じていることを率直に質問、また1名が再質問をしました。

町長・教育長も丁寧に関わりやすく答弁していました。

10名の議員の発言内容・態度は真摯で、これからの中標津を背負ってくれるものと確信しました。

いずれにしても、大変有意義な「中学生議会」でした。

(佐藤 武志 議員)

意

見

書

森林・林業・木材産業施策の

積極的な展開に関する意見書

提出者 熊倉 重樹 議員

地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、林業・木材産業の振興を図り山村地域を活性化していくためには、森林・林業を国家戦略と位置づけて、国の「森林林業基本計画」等に基づき、森林施業の集約化、路網の整備、人材の育成等を積極的に進めるとともに、国産材の利用や木質バイオマスのエネルギー利用を促進するなど、森林資源の循環利用による森林・林業の再生を推進することが重要である。

また、東日本大震災地において本格的な復興を早急に図るため、復興に必要な木材を安定的に供給できるよう取り組むことが必要である。

よって国において、前記のことを実現するよう強く要望する。

利用者本位の持続可能な

介護保険制度の確立を求める意見書

提出者 端 裕子 議員

一、要支援者を「新しい総合事業」に移行することは、社会保険の基本的な制度である個人給付を大きく変容させるもので、給付水準や負担額の格差が自治体の財政力などによって今まで以上に拡大する恐れがあり、介護サービスの安定供給に懸念があるため、現行の予防給付を維持すること。

二、予防給付は、介護の重度化防止の観点で有効であり、自立支援効果の期待できる予防給付が行なわれるようケアマネジメント

を強化すること。

三、一定所得以上者の介護保険利用料2割負担は、引き上げで大きな影響が生じるので、基準設定について、長期的・継続的負担となることを考慮した所得要件とすること。

四、特別養護老人ホームにおける補足給付の支給要件に資産を追加する時、実態を把握し、資産捕捉の確実性・公平性の確保、さらには保険者の事務負担を十分考慮すること。

五、介護人材の確保は介護サービス提供のための基礎的基盤であることから、働き続けられるよう介護労働者を安定的に確保するためのロードマップを示し、処遇改善及び人材育成・確保への財政措置を含めた施策を講じること。

六、地域包括ケアシステム推進に、24時間定期巡回・随時対応サービスや小規模多機能サービスの現状を検証し、改定・改善策を進めること。

2014年度地方財政の

確立を求める意見書

提出者 瀬波 秀人 議員

一、社会保障分野の充実、農林水産業の再興、環境対策などの増大する地域の財政需要を的確に把握し、地方財政計画、地方交付税総額の実質的な確保をはかること。

二、地域における経済情勢は依然として厳しいことから、いわゆる歳出特別枠について減額を行わないこと。あわせて臨時的経費から経常的な経費への転換をはかること。

三、2014年度の地方財政においても巨額

の財源不足が見込まれることから、別枠の加算について拡充するとともに、法定率の引上げなど抜本的な対策を行うこと。

四、合併特例法による市町村合併の算定特例の段階的終了を踏まえ、新たな財政需要の把握について必要な対策を講じること。

五、2013年度地方財政計画において、地方公務員給与と費が国の臨時特例措置に準ずるとして削減されたが、2014年度予算においては、減額した給与関係経費等に係る財源については、完全に復元すること。

六、地方交付税の算定について「行革努力」、「地域経済活性化の成果」に応じた算定方式の導入や2013年度の給与削減要請への対応状況に対する財政的制裁措置の導入については、厳に慎むこと。

七、地方法人特別税、地方法人特別譲与税の見直しや自動車取得税廃止に伴う代替財源を確保すること。



松村 康弘 6期

① 強くなければ、生きていけない。
優しくなければ、生きてゆく値がない。

② 輝け生命達！地球上の自治体にはあらゆる生命達の未来を輝かせる為に力を尽くす使命があります。地球の丸く見える町も青い地平線を多くの人達に眺めてもらって地球の為に何ができるか考えてもらおう場を提供できます。努力!!

常任委員会 活動レポート

議会には3つの常任委員会があります。定例会から次の定例会が開催される間を「閉会中」といい、各常任委員会はこの間を活用し、所管する事項とその他案件の調査をしています。主な調査事項を報告します。

総務文教常任委員会

町税・防災について

(総務部)

・人事院勧告について

25年度の月例給・ボーナスともに調査した民間平均値と格差が少なく、改定しないとの報告がありました。

・町税について

町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・都市計画税・入湯税の9月末の収納状況について報告がありました。ほぼ全項目につき前年より収納額が上回り、対前年比2.33%増です。コンビニ収納や郵便局納付の取扱等納付しやすい環境を整えること、口座振替納付の加入促進の取り組み状況が報告されました。

・平成26年度予算編成方針について

本町の財政において、町税は若干の増収。地方交付税は徴減と考えられる。26年の予算編成にあたっては、本町の基本方針の「第6期総合発展計画」との整合性に十分留意し、産業・観光・環境・教育・医療・福祉の政策課題に取り組み、発展計画の「基本目標」の推進に努め、将来を見据えた財政の健全性を確保するとの報告がありました。

・防災について

町地域防災計画の改訂を26年3月末まで進めます。計画は「減災」の考え方を基本に道地域防災計画の内容に準じた改定となっています。

暴風雪災害の対応について対応検討会の構成機関、具体的な対策が示された。また立ち上げられた町暴風雪災害対応本部の構成機関、立ち往生車両の救助体制が示された。また、吹雪発生予測システムについて、事業の概要、今後の取り組みが示された。

次のような質疑がありました。

(質問) 養老牛地域の避難所は会館を使用するのか。

(答弁) 釧路建設管理部除雪ステーションを利用して下さい。コンビニなどにもお願いします。

(質問) カーナビに避難所等の住所を登録しては。

(答弁) 振興局とも相談して対応して行きたい。

(佐藤 武志 議員)

厚生常任委員会

再生可能エネルギーの利活用

休会中の委員会で12月定例会に付議された議案を審議しましたので主なものを報告致します。

(町民生活部)

・地熱開発理解促進関連事業

第6期総合発展計画には、具体的にはのってはいませんが、今後のエネルギー利活用を計っていく上でデータ作りは必要。

・太陽光外設置調査設計委託

北海道再生エネルギー等導入推進事業補助金を利用し、交流センターに蓄電池付太陽光発電・太陽熱利用給湯システムを設置し、緊急時に対応。

・児童館建設について

無落雪で建設。

雨水・雪どけ水などの排水の対策は十分にできているのか質問には、所管で管理をしっかり行なっていくとの答弁。

(後藤 一男 議員)

産業建設常任委員会

建設工事進捗状況現地調査

(建設水道部)

●平成25年度建設工事の発注状況は、全体で95%発注済み
 ●進捗状況は、旭第2団地5・6号棟を視察しました。進捗率55%、外壁下地、サッシ取付、屋上防水施工中、概ね工程より10日遅れでした。

●中標津都市計画（用途地域）見直しについて
 10月初旬に用途地域見直しのための住民・企業向け説明会を開催し、またパブリックコメントの募集をしました。

意見の中に東13条南環状線「第2種中高層住居専用地域」を「準工業地域」への変更に反対の意見がありました。が、国道272号の有する機能及び整備状況等を勘案し、「準工業地域」に指定を予定しているものの説明を受けました。

●第6期中標津町道路整備5カ年計画策定について
 平成26年度から30年度の5カ年を全ての町内会、連合会、協議会へ要望調査をし、路線ごとに点数付けを行い（重要性、緊急性、地域性等）点数の高い路線から選択することです。

(経済部)

●空港利用状況について
 25年度上半期は、札幌・東京便合わせて昨年より3千900人増の搭乗数。

●空港利用促進キャンペーンとして一人1万円の補助、定員500人で11月1日から来年3月15日出発分までの日程に

なっています。

●状況状況について
 11月7日現在牧草・サイレージ用トウモロコシは平年並み、てん菜・大根・ブロッコリーは病気が発生し、例年を多少下回る程度で推移し、生乳生産量は、昨年の猛暑、長雨による乳房炎が発生し前年を1.5%下回りました。

●エゾシカ対策について
 4月から10月までの捕獲頭数は、1千110頭、有効活用は134頭、肉数量は1747.4kgでした。

(質問)

シカ肉加工場トレジャーボアの存続の件について説明がほしい。

(答弁)

関連会社の倒産により経営は悪化、在庫処分などで動いていたが10月30日をもって閉鎖されました。

今後斜里町にある（株）知床エゾシカファームに困いわたのシカはお願いしていただくつもりです。



旭第2団地の現場視察

●報告1

台風18号の災害復旧費について
 郊外22路線の主に法面の被災箇所の修復に970万円を支出しました。

●報告2

西2条橋通行規制の状況について
 11月6日通行止めになりましたが地域住民からの苦情もなく推移しています。

●その他

丸山公園整備事業（新体育館敷地造成工事）について
 新体育館建設予定地の脆弱な地盤に2.8mのサーチャージ盛土をして固めることにしました。

（鈴木 克弘 議員）



後藤 一男 3期

① 自主自立

② 町（地域）に住みつづけるにはそこに産業があり、働く場所があり、コミュニティがあることと思っています。
 若い人達がこの町に止まり家庭を持ち、子どもを産み、育んでいくことが、地域にとってもとても大切なことだと思います。

一人ひとりがお互いを思いやり、子ども達から高齢者までが住みつづけていける町づくりを、産業を通して築いていきたいと思っています。

また、町民の意向が充分に反映される議会運営に努力してまいります。

平成25年10月から12月までの活動報告					
月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
10月1日	議会広報特別委員会	全 委 員	11月20日	「要支援者に対する介護予防給付の継続」と「利用者負担増の中止」について意見書採択を求める陳情	副 議 長
3日	議会広報特別委員会	全 委 員			
	議会だより100号記念特集打ち合せ	担 当 議 員			
7日	厚生常任委員会	欠 席 1 名			担 当 議 員
8日	公明党山口那津男代表と北方領土返還運動関係者との懇談会（根室市）	副 議 長	23日	東京中標津会総会・懇談会（東京都）	正 副 議 長
12日	根室町村議会議員研修会（別海町）	議 長 他 11 名	25日	総務文教常任委員会	全 委 員
15日	決算審査特別委員会	欠 席 1 名	26日	釧路根室地方森林・林業・林産業活性化を促進するための連絡会議役員会（釧路市）	林 活 会 長・ 事 務 局 長
16日	台北駐日経済文化代表處札幌分處長表敬訪問	議 長	30日	札幌中標津会総会・懇談会（札幌市）	副 議 長・ 総務文教常任委員長
	決算審査特別委員会	欠 席 1 名	12月1日	北方領土返還要求アピール行進（東京都）	議 長
17日	決算審査特別委員会	欠 席 1 名	2日	北方領土返還要求中央アピール行動「政府要請」（東京都）	議 長
18日	決算審査特別委員会	正 副 委 員 長	4日	議会運営委員会	全 委 員
	議会だより100号記念特集打ち合せ	担 当 議 員	5日	計根別同志会会員懇話会	副 議 長
22日	根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会研修会（根室市）	林 活 会 長 他 10 名	6日	中標津町外2町葬斎組合、根室北部消防事務組合、根室北部廃棄物処理広域連合、根室北部衛生組合 各議会定例会	全 副 関 係 議 員
29日	議会改革特別委員会	全 委 員	9日	文化とスポーツのつどい	副 議 長
11月1日	厚生常任委員会	全 委 員		総務文教常任委員会	全 委 員
2日	開陽小学校閉校式典・思い出を語る会	議 長		厚生常任委員会	全 委 員
5日	決算審査特別委員会	欠 席 1 名		産業建設常任委員会	全 委 員
6日	中標津丸ごと給食	正副議長・総務文教常任正副委員長・産業建設常任正副委員長		議会運営委員会	全 欠 席 1 名
8日	産業建設常任委員会	全 委 員		12月定例会本会議（1日目）	全 欠 席 1 名
10日	自由民主党北海道第七選挙区支部根室管内移動政調会	議 長	10日	三合同常任委員会	全 欠 席 1 名
12日	連合北海道中標津地区連合会要請活動	副 議 長	11日	厚生常任委員会	全 欠 席 1 名
16日	町村議会議長全国大会（東京都）	議 長	12日	産業建設常任委員会	全 欠 席 1 名
	自由民主党・政務調査会「領土に関する特命委員会」による北方領土視察に伴う研修会（根室市）	副 議 長		総務文教常任委員会	全 欠 席 1 名
18日	総務文教常任委員会	全 委 員	13日	議会運営委員会	全 欠 席 1 名
	北海道議会北方領土対策特別委員会道内調査に係る意見交換会等（羅臼町）	議 長		議会だより100号記念特集打ち合せ	欠 席 1 名
19日	議会改革特別委員会	全 委 員	16日	12月定例会本会議（2日目）	欠 席 1 名
	根室農業大賞表彰式・祝賀会	議 長		全農協議会	欠 席 1 名
			17日	酪農対策に関する中央要望（東京都）	副 議 長
			18日	参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会との懇談・要望会	議 長
			25日	議会広報特別委員会	欠 席 1 名
				議会広報特別委員会	全 委 員
				中標津消防団歳末警戒	議 長
				根室町村議会議長会臨時総会	正 副 議 長